

# 災害対策委員会 基本方針

災害対策支援室 室長 飯笹 壽久

我々が住む佐賀の地は2017年7月に発生した九州北部豪雨、2020年7月と2021年8月にも佐賀豪雨による水害が起こり、甚大な被害を受け大勢の方々が被災されている現状であります。2022年には台風11号、勢力の非常に強い台風14号の上陸等で、近年は異常気象が発生し災害数の増加が懸念されています。今一度災害時に向けて対策していく必要があります。

まずは、一般社団法人佐賀青年会議所が現在連携している他団体や学生などと協力体制をより活発にするために、平時からの事前準備や災害支援活動の意義や役割を認識し連携方法を学ぶことで、メンバーの防災知識や意識を高めていきます。そして、佐賀青年会議所がより実働的に動けるような組織にするために、締結している他団体との連帯強化を図ることで、早期の復旧、物資確保・供給に繋げていきます。さらに、災害から自分や家族の命を守るために、災害対策の大切さを理解し防災の意識を高めることで、災害のリスクを最小限にできるよう知識を身に付けていきます。また、市民の方々にもより防災に意識をもってもらえるために、市民参加型の防災事業を開催することで、災害に強いまちづくりを目指していきます。そして、佐賀青年会議所が第74回全国大会佐賀大会を決定し、この全国大会が佐賀により良い影響をもたらすために、佐賀の魅力を学び地域に発信する機会をつくることで、全国大会に向けてメンバーの意識向上と運営体制を構築していきます。

他団体との交流を行い連帯強化を図り、より良い地域社会を目指し青年会議所のネットワークを生かして、「獅子搏兔」のように決してあきらめることなく妥協せずに、何事にも全力な気持ちを胸に、明るい未来を目指します。

## [事業計画]

1. 災害対策事業の企画・運営(10月)
2. 新年会の企画・運営(1月)
3. 河川清掃の実施(4月・10月)
4. 例会の企画・運営(4月・9月)
5. 佐賀ブロック大会参加者への支援(6月)
6. 薩長土肥の会参加者への支援(11月)
7. 全国大会に向けての取り組み(宿泊 担当)
8. 会員拡大 拡大目標 委員会6名(全体30名)